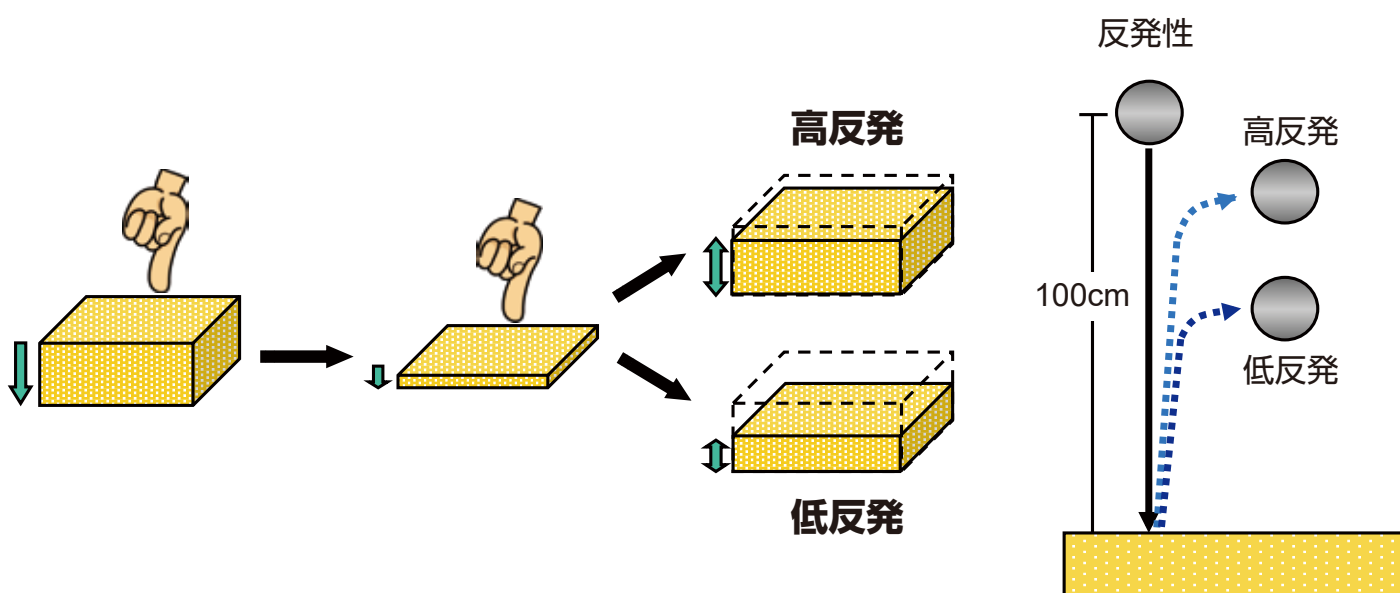


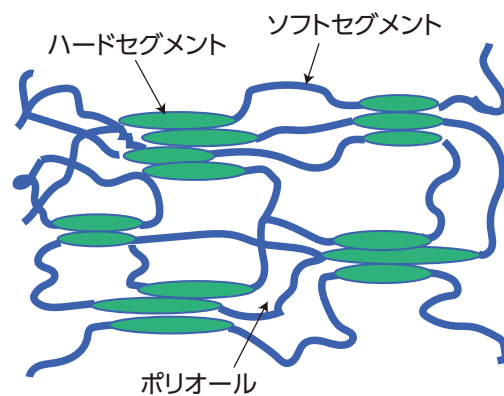
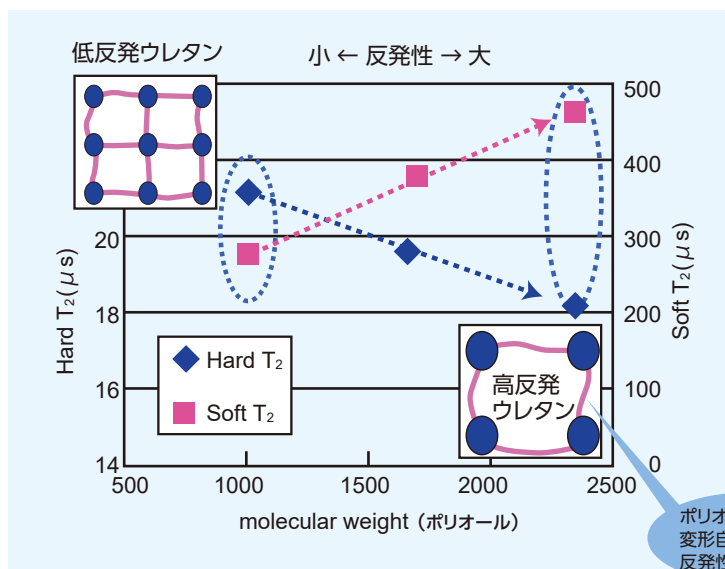
ウレタンの構造と物性の関係を知る パルスNMR

ウレタン材料の物性はハードセグメントとソフトセグメントの相分離構造により制御される場合が多いが、相分離構造のモロフォロジーを観察することは困難である。パルスNMRでは分子運動性評価により、相分離構造を解析することが可能であり、材料物性との相関性を求めることができる。

▶ 軟質ウレタンフォームの反発性の比較



▶ パルスNMRによる分子量・分子運動性と物性解析



ハードセグメントとソフトセグメントの相分離構造